

ちばセンセイの健康ワンポイントアドバイス

今年はインフルエンザの流行はないのかも知れないと感じていた年頭でしたが、中旬ぐらいから患者さんが増えてきました。インフルエンザの予防接種を打っていても、インフルエンザに罹ることがあります。罹ることは防げなくても、症状が軽く済むことは十分に期待できます。37℃ぐらいのあまり高くない熱の方でも、検査をするとインフルエンザ陽性となる場合が少なからずあります。重症化しないための効果は期待して良いので、ぜひ来シーズンも受けて下さい。

グリメピリド（アマリール等）、グリクラジド（グリミクロン等）、グリベンクラミド（オイグルコン等）を飲まれている方あるいは現在も飲まれている方は多いと思います。少し前までは、この系統（SU薬）の薬が治療薬の主役でした。簡単に説明すると、膵臓に働きかけてインスリン分泌を増やす薬です。効き目は早く、また効果も良いので好んで使われていた（いる）のです。

欠点としては、「よく効く」＝「低血糖を起こす」ということです。インスリンが分泌されて血糖が下がるのですが、血糖を体内に取り込むため、それが脂肪に変わり、体重が増えるという欠点もあります。

また、長く使っていると効きが弱くなるということがあります。そのため、徐々に増やしていくことになります。最初0.5mgで始めたのが、そのうち1mg, 2mg, 3mgと増やしていき、極量まで増やしても効かないようなら、「いよいよインスリンの時期になりました」ということになるのです。

今はSU薬以外にもよく効く薬がありますので、極量まで使うということはまずありません。少量で使うことが多いのが最近の傾向です。

大楽毛 2-2-27 Tel64-6650

ちば内科クリニック 院長 千葉 淳